
JFEシステムズ株式会社

2005年3月期 決算説明会

2005年5月13日

目次

. 2005年3月期決算概況	P4
. 2006年3月期業績見通し	P14
. 重点課題への取組み	P22
参考データ(単体指標)	P33

本日のポイント

- 2005年3月期損益は対前期連結売上高 30億円 (8.3%)、
経常利益 5.5億円 (41.2%)、と大幅に悪化。
不採算案件の発生、 一部事業の損益悪化
金融SIの需要減少、 製造流通SIの立上り遅れ
- 2006年3月期の収益改善方針
製造流通SI、JFEグループ向けの収益拡大、
金融SIの新規重点顧客獲得、 損益悪化事業の立直し
- 中期計画の推進
プロセス製造および鉄周辺顧客の開拓とアカウント化
部品組立型製造SIの拡大と基盤システム事業(IT資産統合
運用サービス等)の立ち上げ
パートナー戦略推進によるコストダウンと販路拡大

. 2005年3月期 決算概況

2005年3月期の業績 (連結: 対業績予想)

単位: 百万円

	業績予想		実績	差異(%)	
	04/11月A	05/1月 B		対A	対B
売上高	35,600	34,500	33,392	6.2%	3.2%
営業利益	1,450	-	794	45.2%	-
(営業利益率)	4.1%	-	2.4%	-	-
経常利益	1,450	800	797	45.0%	0.4%
(経常利益率)	4.1%	2.3%	2.4%	-	-
当期純利益	610	200	217	64.4%	+8.5%
(当期純利益率)	1.7%	0.6%	0.7%	-	-

2005年3月期の業績(連結:対前期)

単位:百万円

	2004年 3月期	2005年 3月期	増減	
			金額	率
売上高	36,425	33,392	3,033	8.3%
売上総利益	5,865	5,148	717	12.2%
(売上総利益率)	16.1%	15.4%	-	-
営業利益	1,410	794	616	43.7%
(営業利益率)	3.9%	2.4%	-	-
経常利益	1,357	797	560	41.2%
(経常利益率)	3.7%	2.4%	-	-
当期純利益	500	217	283	56.6%
(当期純利益率)	1.4%	0.7%	-	-

2005年3月期



事業別売上内訳 (連結: 対前期)

単位: 百万円

	2004年 3月期	2005年 3月期	増減	
			金額	率
ビジネスアプリケーション・ システム事業(BAS)計	29,778	27,872	1,906	6.4%
(うちJFES向け)	(13,305)	(13,549)	(244)	(1.8%)
(うちJFES以外)	(16,473)	(14,323)	(2,150)	(13.1%)
プロダクティブ・ソリューション事業(PBS)計	6,647	5,520	1,127	17.0%
全社計	36,425	33,392	3,033	8.3%

受注残高の増加(連結)

単位:百万円

	04/3期末 受注残高	05/3期末 受注残高	増減	
			金額	率
ビジネスアプリケーション・ システム事業(BAS)計	2,611	4,199	+1,588	+60.8%
プロジェクトベース・ソリュー ション事業(PBS)計	433	492	+58	+13.6%
全社計	3,045	4,692	+1,647	+54.1%

2005年3月期



事業別売上総利益内訳(連結:対前期)

単位:百万円

	2004年 3月期	2005年 3月期	増減	
			金額	率
ビジネスアプリケーション・ システム事業(BAS)計	4,498	3,725	773	17.2%
(売上総利益率)	15.1%	13.4%	—	—
プロダクトベース・ソリュー ション事業(PBS)計	1,366	1,422	56	4.1%
(売上総利益率)	20.6%	25.8%	—	—
全社計	5,864	5,148	717	12.2%
(売上総利益率)	16.1%	15.4%	—	—

2005年3月期 販管費、営業外損益、 特別損益の増減(連結:対前期)

■ 販売費・一般管理費： 100百万円

(04/3:4,454百万円 05/3:4,354百万円)

- ・販売費： +101百万円
- ・一般管理費： 201百万円

■ 営業外損益：+56百万円

(04/3: 53百万円*1 05/3:+3百万円)

*1:ソフトウェア資産廃却損による

■ 特別損益：+103百万円

(04/3: 336百万円*2 05/3: 233百万円*3)

*2:土地建物売却損、コンプライアンス賠償等

*3:本社移転費用、商号変更費用等

2005年3月期経常利益悪化要因の整理

04/3期1,357百万円 05/3期797百万円(560百万円)

単位:百万円

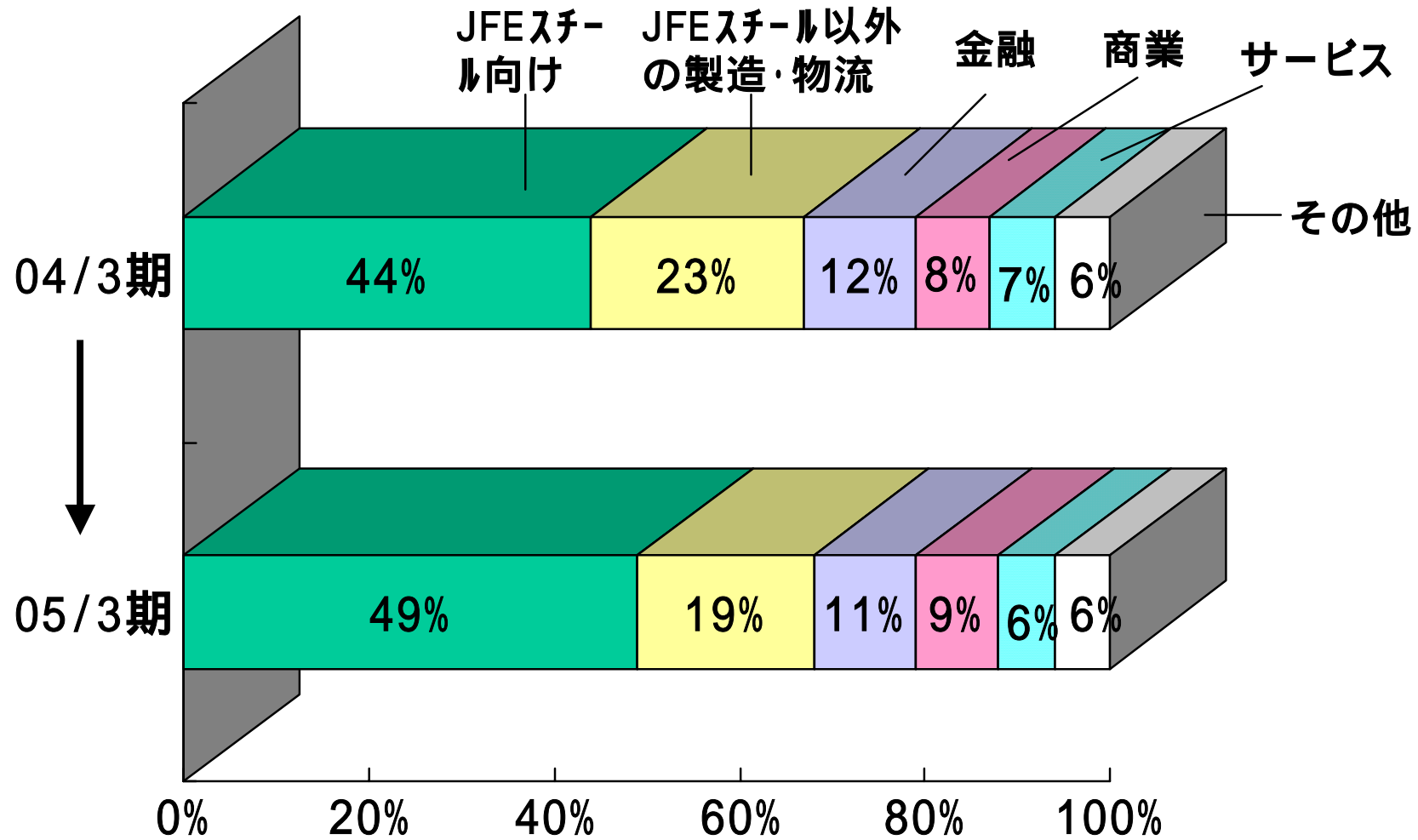
内 容	金額
■不採算案件の発生による売上総利益減少	432
■金融等売上高減少による売上総利益減少	428
■一部プロダクト事業の損益悪化による売上総利益減少	189
■電子帳票、基盤システム、DBアプリ等の売上総利益増加	+333
■販売費・一般管理費の削減	+100
■営業外収益の改善	+56
合計	560

2005年3月期経営指標 (連結)

単位:百万円

	04/3期 実績	05/3期 見込	増減	
			金額	率
有利子負債	2,300	2,815	515	22.4%
株主資本	7,460	7,486	26	0.4%
総資本	17,904	18,196	272	1.5%
株主資本比率	41.7%	41.2%	-	-
ROE	6.8%	2.9%	-	-
従業員数(人)	1,603	1,555	48	3.0%
売上高 / 人	22.7	21.5	1.2	5.4%
経常利益 / 人	0.85	0.51	0.34	39.6%

2005年3月期 販売先業種構成 (単体)



. 2006年3月期 業績見通し

2006年3月期業績見込み(連結)

単位:百万円

	05/3期 実績	06/3期 見込	増減	
			金額	率
売上高	33,392	35,900	2,508	7.5%
売上総利益	5,148	5,900	752	14.6%
(売上総利益率)	15.4%	16.4%	—	—
営業利益	794	1,050	256	32.2%
経常利益	797	1,050	253	31.7%
(経常利益率)	2.4%	2.9%	—	—
当期純利益	217	520	303	139.6%
EPS (円/株)	2,766	6,621	3,855	139.6%

2006年3月期見込み 事業別売上内訳(連結)



単位:百万円

	05/3期 実績	06/3期 見込	増減	
			金額	率
ビジネスアプリケーション・ システム事業(BAS)計	27,872	29,750	1,878	6.7%
(うちJFES向け)	(13,549)	(10,450)	(3,099)	(22.9%)
(うちJFES以外)	(14,323)	(19,300)	(4,977)	(34.7%)
プラダクトベース・ソリュー ション事業(PBS)計	5,520	6,150	630	11.4%
全社計	33,392	35,900	2,508	7.5%

2006年3月期見込み 事業別売上総利益内訳(連結)



単位:百万円

	05/3期 実績	06/3期 見込	増減	
			金額	率
BAS事業	3,725	4,200	474	12.7%
(売上総利益率)	13.4%	14.1%	—	—
PBS事業	1,422	1,700	278	19.5%
(売上総利益率)	25.8%	27.6%	—	—
全社計	5,148	5,900	752	14.6%
(売上総利益率)	15.4%	16.4%	—	—

2006年3月期見込み 販管費、特別損益の増減(連結)



■ 販売費・一般管理費：+496百万円

(05/3:4,354百万円 06/3:4,850百万円*1)

*1:業種別営業強化、生産性向上テーマ費用等

■ 特別損益：+233百万円

(05/3: 233百万円*1 06/3:0百万円)

*1:事務所移転費用、商号変更費用等

2006年3月期経常利益改善要因の整理

05/3期797百万円 06/3期1,050百万円(+253百万円)

単位:百万円

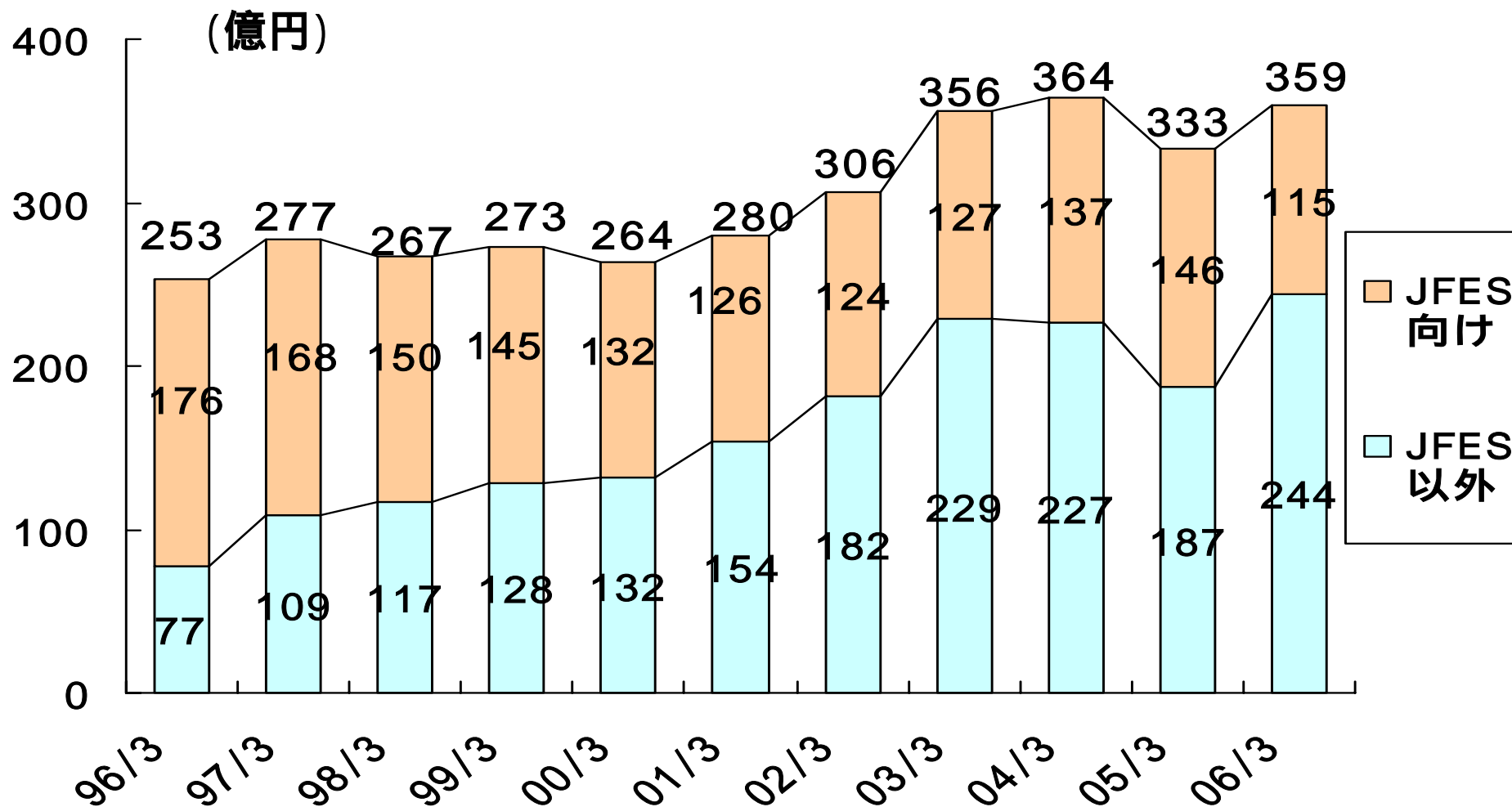
項目	金額
■製造流通向け、金融向け売上高増加による売上総利益の増加	+774
■コンタクトセンターシステム事業の収益改善による売上総利益増加	+278
■電子帳票、基盤システム等の売上増による売上総利益の増加	+150
■JFEスチール向け売上高減少による売上総利益減少	300
■新事業立上げコスト	150
■販売費・一般管理費の増加	496
■営業外収益	3
合計	+253

2006年3月期見込み経営指標(連結)

単位:百万円

	05/3期 実績	06/3期 見込	増減	
			金額	率
有利子負債	2,815	2,500	315	11.2%
株主資本	7,486	7,786	300	4.0%
総資本	18,176	18,525	349	1.9%
株主資本比率	41.2%	42.0%	—	—
ROE	2.9%	6.8%	—	—
従業員数(人)	1,555	1,605	50	3.2%
売上高/人	21.5	22.4	0.9	4.2%
経常利益/人	0.51	0.65	0.14	27.6%

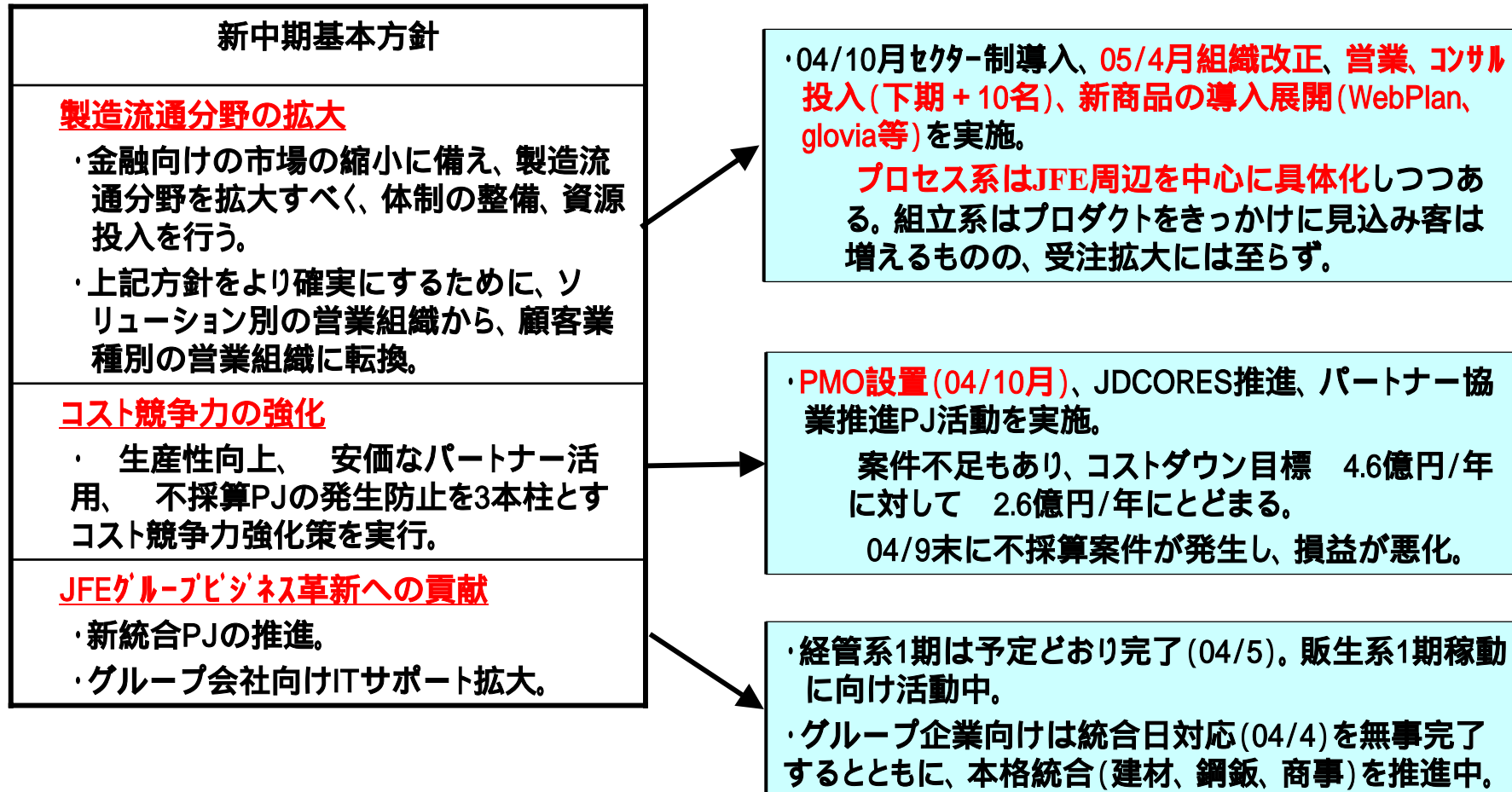
売上高の推移



(注) 03/3期以降は連結売上高を記載

重点課題への取組み

新中期計画(04下～06年度)初年度の総括



来期以降に向けての方針

■中期計画方針を軸にした受注拡大活動の推進(一部軌道修正織りこみ)

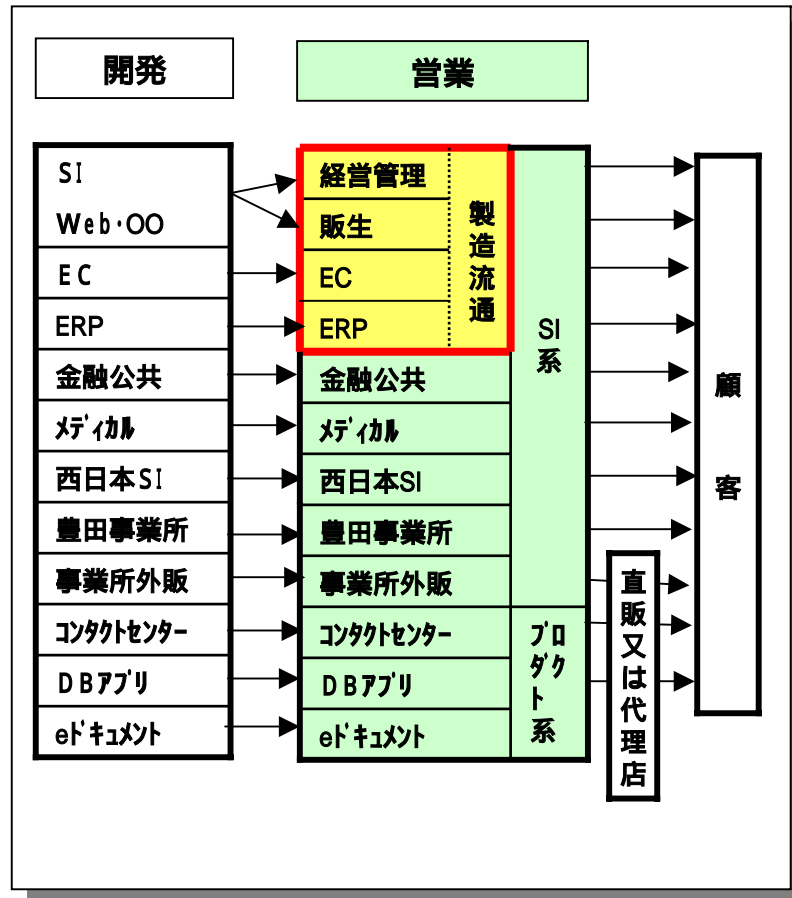
基本方針	新統合システム終了に伴うスチール向けの売上が減少する中、市場環境は依然として厳しいが、中期方針の基軸を維持し、 中長期的な成長に向けた基盤づくり を行う。
重点分野	当面のコア事業は 当社にしかない強み(実績)のあるプロセス、鉄周辺外販分野 とする。



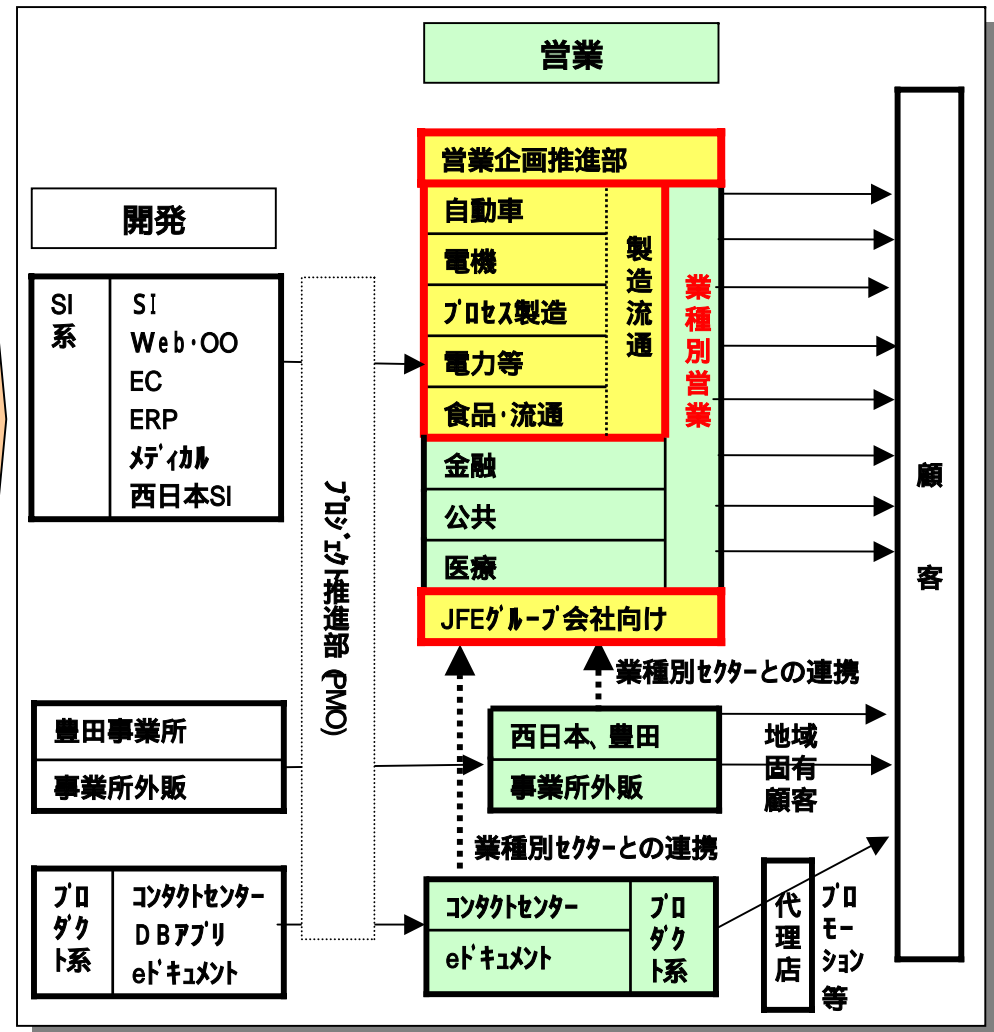
コア事業 拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・上記分野の中堅企業(基幹業務)、大企業(部門業務)に徹底的にアプローチし安定顧客化。その数を増やし、当社ならではの安定的なコアビジネスへ育成。 ・JFEグループ会社も同じカテゴリーの顧客と位置付けて積極的にアプローチする。 ・従来からのコア事業である金融SIでは、みずほ系を中心とする主要顧客に加え、新たな重点顧客獲得を狙う。 ・JFEスチール向けのポスト新統合システムに向けた提案活動の推進。
新規分野 展開	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車、電機関係の部品組立て型産業へのアプローチを進める。商品開発、要員確保等を推進し、早期拡大を目指す。 ・新規事業(IT資産統合運用サービス等)の立ち上げに着手。
パートナー 戦略強化	<ul style="list-style-type: none"> ・製作フェーズでのパートナー協業拡大 開発コスト競争力強化、開発対応力拡大 ・業務連携、M&Aの推進 新規顧客獲得、技術ノウハウの補完

顧客業種別営業体制への転換

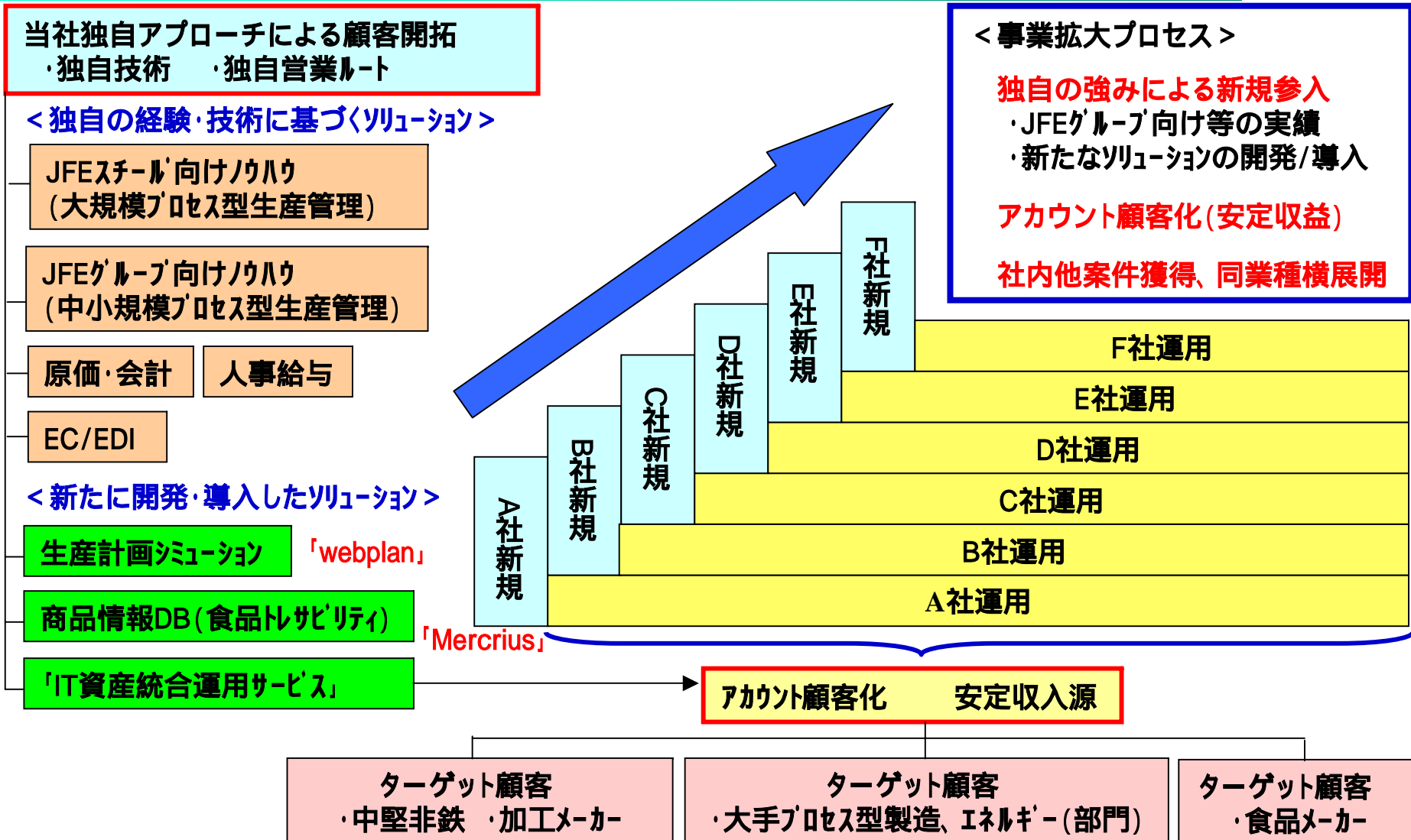
< サービス・商品別営業体制 >



< 顧客業種別営業体制(2005.4.1 ~) >



製造流通分野事業拡大イメージ



JFEスチール向けで培った技術

JFEスチールの経営をIT面で下支え

弊社は、JFEスチールと共に歩みながら、その時々々の経営ニーズにマッチした経営管理および販生流分野の**さまざまなビジネスモデルを構築**し同社の業績向上に寄与してきました。

JFE版ビジネスモデルの完成

鉄鋼業界のグローバルリーダーシップ確保

経営統合の新仕組み

海外顧客毎のSCMの仕組み

国内顧客毎のSCMの仕組み

製鉄所生産管理の仕組み

全社販生流一貫の仕組み

JFEスチール

JFEシステムズ

この実績を元に、03/4のJFEスチール発足後は「新統合システム」という大規模な**新たなビジネスモデルを構築中**です。
今後とも弊社は、JFEスチールのサクセスロードを経営基盤の一つであるIT面で支えながら共に歩みつづけます。

IT資産統合運用サービスの概要

- サービス開始: 2005年4月 「高品質なネットワーク運用サービスを適正価格で代行」
- 特徴: 鉄での365日24h連続運用のノウハウの活用、有力NW機器ベンダとの連携
SLAに基づく高品質なサービスの提供

<サービスメニュー>

ネットワークヘルプデスク
ネットワークシステムに関わる障害・問い合わせ・申請・広報等

障害管理
ネットワークシステムの障害監視、障害発生時の通知、切り分け・対処・復旧

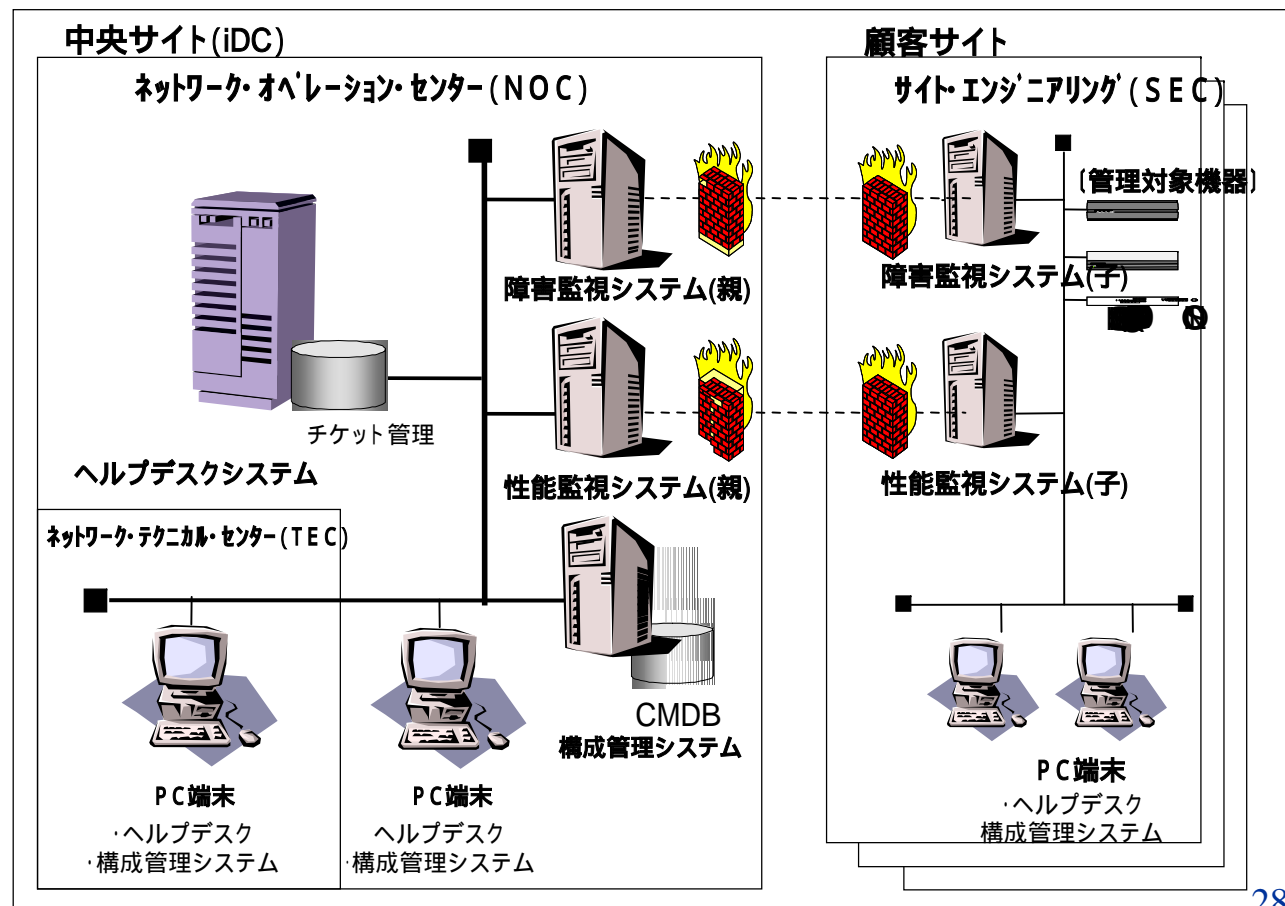
性能管理
ネットワークシステムの性能監視、異常時の通知、切り分け・対処・復旧

構成管理
ネットワークの構成情報(配線・機器)一元管理

設定管理
ネットワーク機器の設定情報を世代単位に保管

セキュリティ管理
ネットワークのセキュリティアセスメント、改善、不正アクセス監視

<システム構成>



生産計画ソリューション

次世代SCPソリューション“webplan”

需要変動、資材供給変動、設計変更、オーダ変更など、
 いろいろな変動がサプライチェーン全体に及ぼす影響を、
 さまざまな角度から分析/シミュレーションします。
 高速エンジンにより瞬時に結果を確認。さらに複数の
 シナリオを瞬時に比較することも可能。人間系の迅速な
 意思決定を支援します。
 納期達成率と精度の向上など顧客満足度をUP!!

従来のSCPツールでは、複雑な最適化とモデルは導入が難しく、また自動最適の結果は人間系のアクションとギャップがあり、理由の解析や人手修正に時間を取られていました。

適用事例(既にSCPソフトを導入済みの電気メーカー様)

顧客の需要状況が刻々と変化する製品の需給調整に、人間系で調整して柔軟に結果がだせるwebplanを導入。シミュレーションに時間がかかりすぎ、機動力のある解決策がだしにくかった従来のSCPソフトの弱点を補うことに成功しました。

豊富な実績(抜粋)

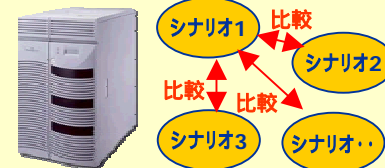
電機電子: Philips, Lucent Technology, XEROX,
 SOLECTRON, SCI, Jabil Circuit他
 産業機械: Caterpillar, Komatsu America, John Deere,
 住友電装ヨーロッパ 他多数

(*1) システムの実行スピードは、システム環境や設定、ハードウェア仕様により異なります。
 *このサイトに記載されている社名・商品名は各社の商標または登録商標です。
 製品内容や構成については、予告なく変更する場合があります。

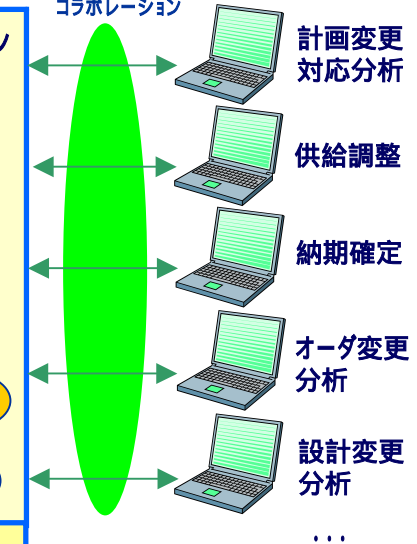
webplan RapidResponse

インターネット
 サプライヤ/顧客/販社
 コラボレーション

世界最速(*1)APSエンジン
 100%メモリレジデンス
 シングルデータモデル
 複数拠点情報をひとつの
 モデルに集約し可視化
 複数シナリオの同時実行と
 シナリオ比較



アダプタ



ERP、レガシー、MES、PLM...

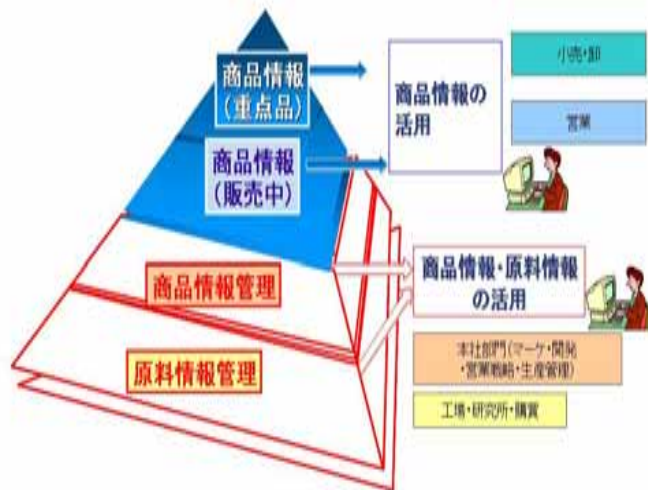
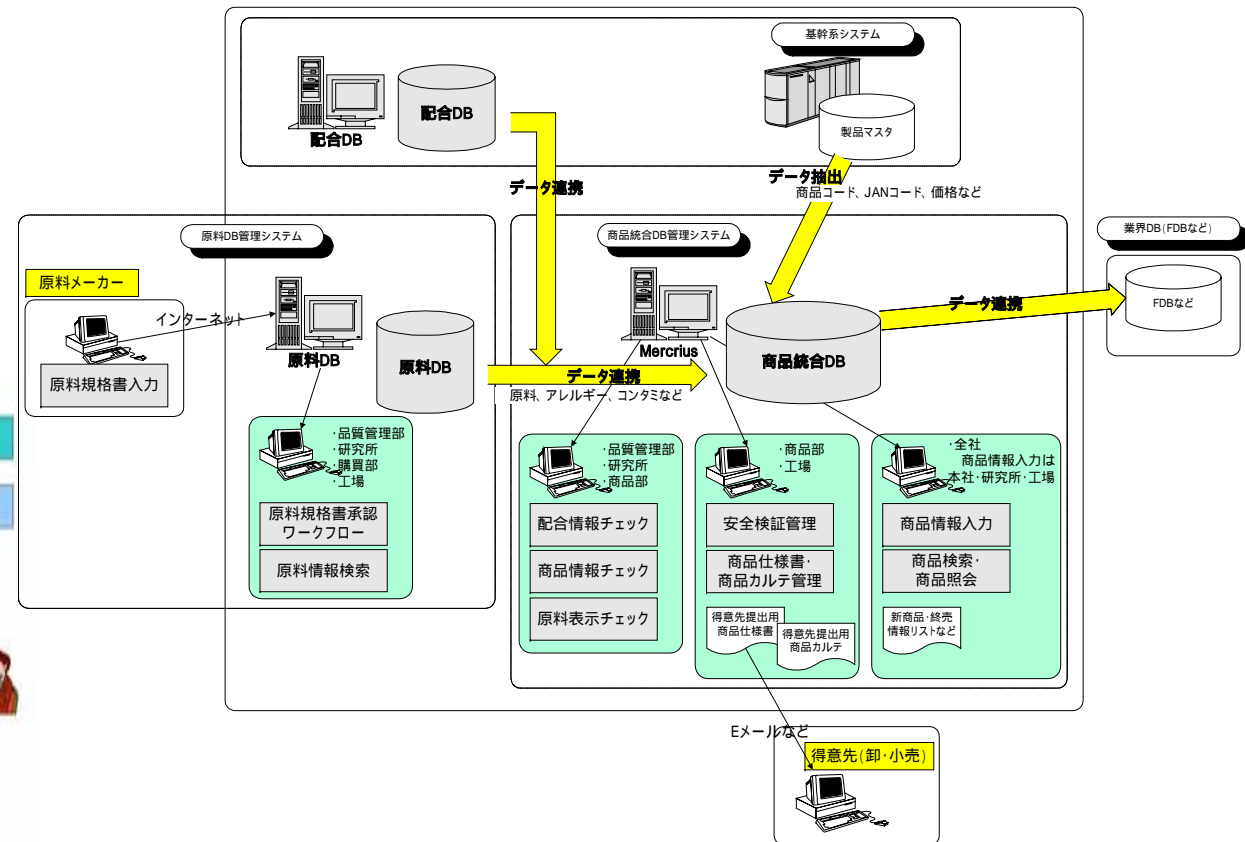


商品情報統合DBソリューション

「**Mercrius**」は、企業の部門毎に分散している商品データを統合的に管理し、戦略的に活用するための商品管理システムです

商品情報だけでなく、原料、包材などの商品を構成する資材情報まで管理し、ユーザの目的に合わせた商品情報統合環境の提供する。

食品業界の事例



JFEグループ会社向け事業方針

- 04年度に統合した大手グループ会社(物流、鋼鋳、ミネラル、メカニカル、鋼材)はいずれもシステムの**本格統合の検討が05年度に開始**される。
- 旧NKKのグループ会社も含め、これまで取引の少なかった会社アプローチし、裾野拡大に取り組む。顧客への積極的な営業と提案ができる体制を構築する。
- 営業、開発は一般外販の部門と連携して臨む。中堅顧客分野の技術ノウハウの習得に加え、**安定的かつ効率的に収益を生むビジネスモデル構築**を行い、プロセス製造をはじめとする一般外販事業へ波及させる。

< 主要グループ会社向け課題 >

会社名	課題
JFE商事	・次世代プロジェクト体制の構築
JFE物流	・本格統合システム開発の推進
川崎マイク	・全社システムの一次立ち上げ
JFE建材	・新統合システムのスムーズな本番
JFEメカニカル	・アウトソーシングの推進
JFE鋼鋳	・本社システムリフレッシュの推進
JFEケミカル	・アウトソーシングへの移行
共通課題	・グループ共通システム ・統合ヘルプデスク等

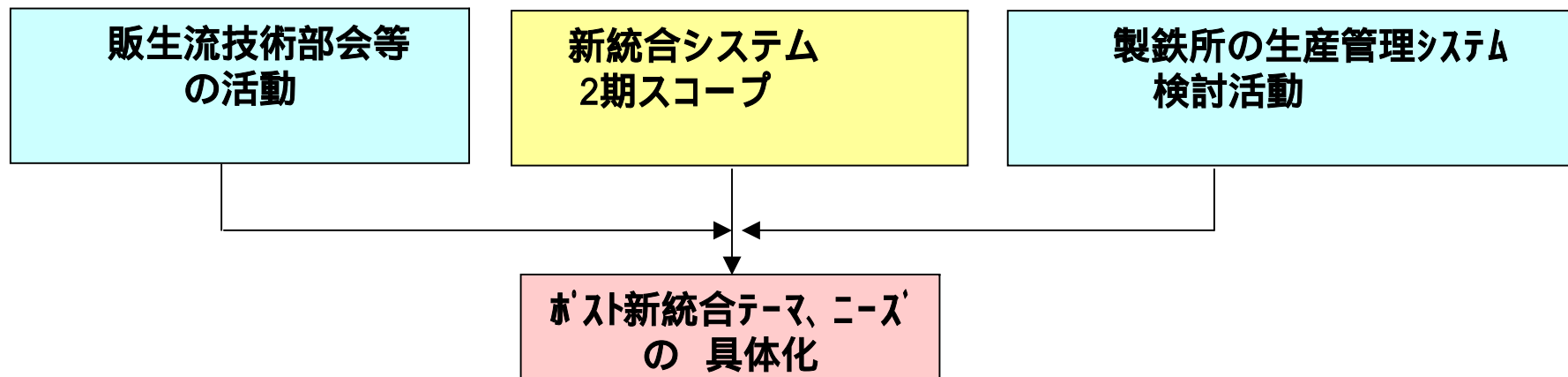
グループ会社向けシステムの特徴

- ・中堅向けに**ローコスト**でシステムを提供
- ・**効率的な営業**により間接費を圧縮
- ・**安定的なベースロード**収入
- ・大規模**リフレッシュ**案件も獲得

JFEスチール向け事業方針

- 新統合システムが2005年5月より順次稼動予定。これにより、スチール向けの業務は減少するが、スチール向けの開発部門に、一部外販向けの開発センターの機能も持たせるべく、外注を含めた要員体制を維持する。
- 新統合システムを通じて培った技術、ノウハウを整理、蓄積し、外販展開への活用をはかる。
(プロセス型生産管理業務ノウハウ、JAVA運用システム、情報基盤の効率的な設計等)
- ポスト新統合への貢献を果たすべく、ニーズ把握、提案活動を推進する。
～「JFEビジネスモデル」の完成に向けた活動と外販への横展開を目指して～

< ポスト新統合に関する動き >



参考データ(単体指標)

2005年3月期の業績(単体:対見込)

単位:百万円

	業績予想		実績	差異(%)	
	04/11月A	05/1月 B		対A	対B
売上高	31,200	30,100	29,021	7.0%	3.6%
営業利益	1,300	—	554	57.4%	—
(営業利益率)	4.2%	—	1.9%	—	—
経常利益	1,320	530	561	57.5%	5.8%
(経常利益率)	4.2%	1.8%	1.9%	—	—
当期純利益	600	160	170	71.7%	6.3%
(当期純利益率)	1.9%	0.5%	0.6%	—	—

2005年3月期の業績(単体:対前期)

単位:百万円

	2004年 3月期	2005年 3月期	増減	
			金額	率
売上高	31,189	29,021	2,168	7.0%
売上総利益	4,662	4,140	522	11.2%
(売上総利益率)	14.9%	14.3%	—	—
営業利益	1,086	554	532	49.0%
(営業利益率)	3.5%	1.9%	—	—
経常利益	1,046	561	485	46.4%
(経常利益率)	3.4%	1.9%	—	—
当期純利益	459	170	289	63.0%
(当期純利益率)	1.5%	0.6%	—	—

2005年3月期



事業別売上内訳(単体:対前期)

単位:百万円

	2004年 3月期	2005年 3月期	増減	
			金額	率
ビジネスアプリケーション・ システム事業(BAS)計	24,613	23,484	1,129	4.6%
(うちJFES向け)	(12,690)	(12,997)	(307)	(2.4%)
(うちJFES以外)	(11,923)	(10,487)	(1,436)	(12.0%)
プロダクトベース・ソリュー ション事業(PBS)計	6,576	5,537	1,039	15.8%
全社計	31,189	29,021	2,168	7.0%

2005年3月期



事業別売上総利益内訳(単体:対前期)

単位:百万円

	2004年 3月期	2005年 3月期	増減	
			金額	率
ビジネスアプリケーション・ システム事業(BAS)計	3,376	2,861	515	15.3%
(売上総利益率)	13.7%	12.2%		
プロダクトベース・ソリュー ション事業(PBS)計	1,285	1,278	6	0.5%
(売上総利益率)	19.5%	23.1%		
全社計	4,661	4,140	521	11.2%
(売上総利益率)	14.9%	14.3%		

2005年3月期 販管費、営業外損益、 特別損益の増減(単体:対前期)

■ 販売費・一般管理費 : +10百万円

(04/3:3,575百万円 05/3:3,585百万円)

- ・販売費: +102百万円
- ・一般管理費: 92百万円

■ 営業外損益 : +45百万円

(04/3: 39百万円 05/3:+6百万円)

■ 特別損益 : +49百万円

(04/3: 228百万円*1 05/3: 178百万円*2)

*1:土地建物売却損、コンプライアンス賠償等

*2:本社移転費用、商号変更費用等

2005年3月期経営指標(単体)

単位:百万円

	04/3期 実績	05/3期 実績	増減	
			金額	率
有利子負債	2,300	2,715	415	18.0%
株主資本	7,391	7,374	17	0.2%
総資本	16,025	16,085	60	0.4%
株主資本比率	46.1%	45.8%	—	—
ROE	6.3%	2.3%	—	—
従業員数(人)	1,377	1,326	51	3.7%
売上高/人	22.6	21.9	0.7	3.2%
経常利益/人	0.76	0.42	0.34	44.3%

2006年3月期業績見込み(単体)

単位:百万円

	05/3期 実績	06/3期 見込	増減	
			金額	率
売上高	29,021	30,800	1,779	6.1%
売上総利益	4,140	4,900	760	18.4%
(売上総利益率)	14.3%	15.9%	—	—
営業利益	554	850	296	53.4%
経常利益	561	860	299	53.3%
(経常利益率)	1.9%	2.8%	—	—
当期純利益	170	480	310	182.4%
EPS(円/株)	2,169	6,112	3,942	182.4%

2006年3月期見込み 事業別売上内訳(単体)



単位:百万円

	05/3期 実績	06/3期 見込	増減	
			金額	率
ビジネスアプリケーション・ システム事業(BAS)計	23,484	24,650	1,166	5.0%
(うちJFES向け)	(12,997)	(9,900)	(3,097)	(23.8%)
(うちJFES以外)	(10,487)	(14,750)	(4,263)	(40.7%)
プラットフォーム・ソリュー ション事業(PBS)計	5,537	6,150	613	11.1%
全社計	29,021	30,800	1,779	6.1%

2006年3月期見込み 事業別売上総利益内訳(単体)



単位:百万円

	05/3期 実績	06/3期 見込	増減	
			金額	率
BAS事業	2,861	3,350	489	17.1%
(売上総利益率)	12.2%	13.6%	—	—
PBS事業	1,278	1,550	271	21.2%
(売上総利益率)	23.1%	25.2%	—	—
全社計	4,140	4,900	760	18.4%
(売上総利益率)	14.3%	15.9%	—	—

2006年3月期見込み 販管費、特別損益の増減(単体)



■ 販売費・一般管理費：+465百万円

(05/3:3,585百万円 06/3:4,050百万円*1)

*1: 営業要員増強、生産性向上テーマ費用等

■ 特別損益：+178百万円

(05/3: 178百万円*2 06/3:0百万円)

*2: 事務所移転費用、商号変更費用等

2006年3月期見込み経営指標(単体)

単位:百万円

	05/3期 実績	06/3期 見込	増減	
			金額	率
有利子負債	2,715	2,500	215	7.9%
株主資本	7,374	7,640	266	3.6%
総資本	16,085	16,702	617	3.8%
株主資本比率	45.8%	45.7%	-	-
ROE	2.3%	6.4%	-	-
従業員数(人)	1,326	1,326	0	0.0%
売上高/人	21.9	23.3	1.4	6.3%
経常利益/人	0.42	0.65	0.23	53.3%

連結子会社KITシステムズの業績

< 会社概要 >

- ・資本金:2億円 ・設立:1986年10月 ・株主:当社67.5%、JFE商事32.5%
- ・社長:坂倉彰一 (会長:岩橋 誠) ・従業員数229名(2005年3月末)
- ・事業内容:情報システム開発/運用、情報通信機器販売/付帯サービス

< 業績 >

単位:百万円

	2004年 3月期 A	2005年 3月期 B	2006年 3月期 (予想)C	増減	
				B-A	C-B
売上高	7,368	6,818	7,540	550	722
営業利益	343	282	230	61	52
経常利益	343	293	230	50	63
当期純利益	113	135	130	22	5

- ・2004年3月期はJFEスチール向けの機器販売やJFE商事向けのシステム開発業務が増加。
- ・2005年3月期は機器販売の減少により、売上高、利益とも減少。
- ・2006年3月期は一般顧客およびグループ会社向けでの当社との連携強化による売上増加を見込む。

JFEシステムズ株式会社

ご静聴ありがとうございました。

(ご注意)

本資料の将来の業績等に関する見通しは、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき願います。